

令和5年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立母衣小学校

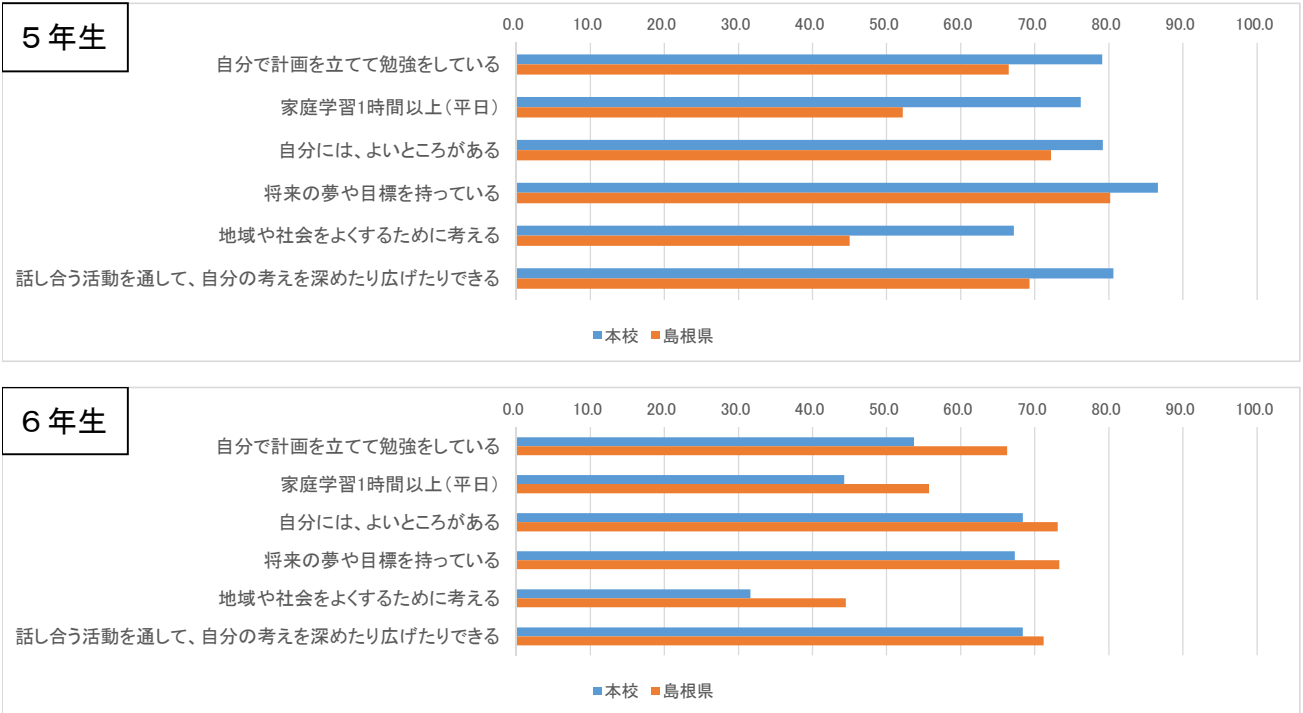
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
国語	○平均正答率は全国より「+5.4」県より「+7.9」である。 ○「話す・聞く」「書く」「読む」等の領域別の平均正答率ではすべての区分で全国より上回っている。基礎的な問題も活用的な問題も平均正答率は全国を上回り、主体的に学習に取り組む態度も全国を上回る。 ○問題の内容別正答率では「漢字を書く」「ポスターを作る」では全国より「+10」以上上回っている。 ●問題の内容別正答率では、「話し合いの内容を聞き取る」「文章を書く」問題によっては全国の正答率を下回るものがあり、「話し手の工夫を捉える」「指定された長さで文章を書く」問題で課題が見られる。	○平均正答率は全国より「-2.1」県より「+5.4」である。 ○「話す・聞く」「書く」「読む」等の領域別の平均正答率ではすべての区分で県より上回っており、「言葉の特徴や使い方に関する事項」では全国より上回っている。基礎的な問題の平均正答率は全国と同じである。 ○問題の内容別正答率では「漢字を読む」「漢字を書く」では全国より「+7」上回っている。 ●問題の内容別正答率では、「言葉の学習」「説明文の読み取り」「文章を書く」問題が全国の正答率を下回るものがあり、「文章を書く」では無回答率も高く課題が見られる。
算数	○平均正答率は全国より「+9」県より「+12.3」である。 ○「数と計算」「図形」「データの活用」等の領域別の平均正答率ではすべての区分で全国より上回っている。基礎的な問題も活用的な問題も全国を上回り、主体的に学習に取り組む態度も全国を上回る。 ○問題の内容別正答率では「分数と小数」「分数のたし算・ひき算」「平均」では全国より「+10」以上上回っている。 ●問題の内容別正答率では、「小数のかけ算・わり算」「体積」の問題によっては全国の正答率を下回るものがあり、「小数の除法の文章問題」「立方体の体積を求める」問題で課題が見られる。	●平均正答率は全国より「-6.9」県より「-0.5」である。 ○「数と計算」「図形」「変化と関係」等の領域別の平均正答率では全国より上回っている。活用的な問題の平均正答率は全国とほぼ同じである。 ○問題の内容別正答率では「面積と体積」「対称な形」「拡大図と縮図」では全国より上回っている。 ●問題の内容別正答率では、「分数のかけ算・わり算」「文字と式」「比と比の値」が全国の正答率を下回り、「分数のわり算」に同じ数をかけて整数のわり算にする」方法の説明では無回答率も高く課題が見られる。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
意識	○「夢や目標をもっている」「自分の力を伸ばしたい」「自分は認められている」と考えている児童が多く、自己肯定感に関する意識も肯定的な回答が高く、学習・生活に対しても、自分で決めて主体的に取り組もうと前向きな回答をしている児童が多い。 ○ほとんど項目で肯定的な回答が多く、基本的な生活習慣が身について落ち着いて生活している児童が多い。 ●「朝食をきちんと食べている」が、県平均より低い。 ●「授業で分からないことがあれば先生に質問する」が、県平均より低い。	○自己肯定感に関する項目が県平均より低い傾向にあるが、「自分にはよいところがある」と回答した児童が昨年より向上し、「自分のことがすきだ」という項目では、向上して県平均を上回った。改善傾向にある。 ○「総合的な学習の時間」に対する肯定的な回答や「1日あたりの読書の時間」が県平均より高い。 ●「挨拶をする」「きまりを守る」等基本的な生活習慣に関わる項目の肯定的回答が県平均より低く、全体的にも肯定的回答が県平均を下回る。 ●学習や生活に対する意識について、主体的に取り組もうとする意識が弱い傾向がある。学習時間も少ない。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R5学力調査受検者数】

5年生

71 名

6年生

97 名

(欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)